

【因果応報の法則⑩】

新年明けましておめでとうございます。  
アークテックコム株式会社の豊原  
信です。



ウェブサイト：  
<https://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : [m.toyohara@arctecom.jp](mailto:m.toyohara@arctecom.jp)

## 幸福を追い求めて

今月は、私が盛和塾で学んだ幸福とは何か、というお話と恒例の「勝手応援メッセージ」をお送りします。

「幸福とは何か」という問いは、人類が探し求め続けてきた大きな命題だと思います。そして、いまだ答えは見つかっていません。もし、誰かが『あなたは幸せですか?』と私に問えば、『はい、幸せです。』と答えます。なぜなら、現在感性的な悩みごともなく、幸福とは何だろうと考えることができてきているからです。

もちろん、様々な苦勞はありますが、それらの苦勞を含めて「なんと幸せな人生だろう」と思うことなのです。要するに「心のあり方」によってもたらされるものだと思います。

物が充実して、生活が便利になった現在、日本社会の幸福感は向上しているかという点、決してそうではありません。特に、この1年の物価高は、幸福感を押し下げているかもしれません。いずれにせよ「幸福のパラドックス」が問題になっていると思います。

人間のエゴをエンジンとして、近代の物質文明が発展してきまし

た。自然を征服し、大量生産、大量消費、大量廃棄の経済システムを前提に経済成長をすることで、社会全体の発展と個人に幸福をもたらすと考えられてきました。

「衣食足りて礼節を知る」と言うように、国家が経済繁栄を求めているのは決して誤りではありません。しかし、人間の欲望には際限がなく、「まだ足りない」という思いがある限り、永遠に充足感は得られず、生涯を不平と不満の中で過ごすことになるわけです。

では、幸福をもたらす心のあり方はどのようにすれば良いのかということなのです。

1つ目は、誠実に勤勉に一生懸命に働くことです。自らの身に降りかかる災難や不幸を人のせいに行ったり、社会のせいに行ったり、自らの外にばかり不幸の要因を求める限り、心の内は永遠に満たされることはないはずで、「天は自ら助くる者を助く」と言われるように、人に頼らず、自ら率先して努力する者にこそ天の助けがあり、幸福がもたらされると言えます。

自然界に生きているすべての動植物は、必死に一生懸命に生きています。いい加減に、怠けて生き

ているものはありません。我々人間も同じです。この世に生を受けてから、死ぬまで、真面目に一生懸命に生き抜いていく。それは自然の摂理に適う生き方であり、そうした生涯を送ることで、真の充足感、幸福感が得られるのだと思います。

2つ目は、「感謝」の気持ちを持つことです。周囲の人々の優しい思いやりや利他の心への「感謝」を片時も忘れないことです。

たとえ、苦しい状況になったとしても、「鍛えていただいている」と感謝の気持ちで、真正面から立ち向かっていくということを忘れてはいけません。

人は今が苦しければ苦しいほど、とかく愚痴や不平不満をもらしてしまうものです。その愚痴や不平不満が、自分自身をさらに悪い境遇へと追いやってしまいます。どんな境遇にあろうとも、「感謝」の心を忘れないことです。

「感謝」とは、誰かに何かをしてもらってするものではありません。人は決して自分1人で生きていけないことを考えてみると分かります。空気、水、食料、家族や職場の仲間たち、さらには社会など、人は自分を取り巻くあらゆる

るものに支えられて生きています。もう少しダイレクトに言うと、生かされています。このようにただ生きているだけでも、不思議なことなのです。我々は普段忘れていますが、この不思議に対して自然と「感謝」の心が出てこないといけません。「感謝」の心が生まれてくれば、人生に対する幸せを感じられるようになると思います。

まずは、嘘でもいいから、無理にでも感謝することが大切だと、自分自身に言い聞かせることが大事です。

3つ目は、謙虚に反省することです。今日自分がやったことを思い返して、人間として恥ずべき点があれば、自分自身を強く叱り、再び過ちを繰り返さないように戒める反省をします。そうすると「神さま、ごめんなさい」と口をついて出てきます。

このように日々反省しながら、自らの心を厳しく律していくことで、傲慢な思いを抑えていくことができますと思います。

このように、誠実に努力を重ね、今あることに感謝し、日々反省をして際限のない欲望を抑制することで、幸せを感じる心を作れるようになります。

さあ、実践して幸福感を持てるようになりましょう。

\*\*\*\*\*  
1月の応援メッセージです。

物事には経緯があり、そして因果があります。

小さな個人的な物事にもありますが、歴史的な大きな物事にもあります。

その経緯を知ることは、今の状況と、これからを予想するのにとても役立ちます。

その原因・因果を知ることは、今の状況分析と対策を立てるのに必要なことです。

物事には経緯があり、因果があります。

小さな個人的な物事にもありますが、歴史的な大きな物事にもあります。

ただし、その経緯や因果は、自分の思い込みによって解釈を間違えることがあります。

誰かの都合で、故意に書き換えられることもあります。

それも含め、事実や史実を客観的に掴む必要があります。

これがなかなか出来ない。

物事には経緯があり、因果があります。

小さな個人的な物事にもありますが、歴史的な大きな物事にもあります。

このことを謎解きするように興味深く、楽しんで出来ると良いです。それも俯瞰して事実を掴むようにすると、尚おもしろい。

その感覚で、掴んだ事実を持って、これからの自分の将来を描きま

す。過去の経緯と因果を知ったうえで、自分の意志で自分の将来を描きます。

大筋で間違わない将来が描けません。将来を見て来たかのごとく描けます。

あなたが必ず成功するためにも、その確率を上げるためにも、過去の経緯や因果を明らかにして、将来の状況を見据え、その中で自分がどのように生きていくかを自分の意志で決めていきます。

\*\*\*\*\*

これは、原因と結果を分析して、その結果を将来の戦略や戦術を検討するときに使います。

最も有効な分析方法は Follow the money という「考え方」です。これは個人でも会社でも国家でも同じです。

【人生の成果／仕事の成果】 =  
【考え方】 × 【熱意】 × 【能力】

【考え方】 は -100 ~ +100  
【熱意】 【能力】 は 0 ~ +100

豊原 信